

2022年5月 東京地区百貨店売上高概況

2022年6月23日

I. 概況

1. 売上高総額	1,116億円余
2. 前年同月比(増減率)	80.6%(9か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭90.9%(89.6%)：非店頭22.9%(10.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 24店 (2022年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	796,488㎡ (前年同月比：-0.7%)
6. 総従業員数	15,015人 (前年同月比：-5.5%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 9.0%、11-1月 13.9%、12-2月 12.9%、 1-3月 13.2%、2-4月 14.2%、3-5月 33.1%

[参考] 2021年5月の売上高増減率は77.7%

【特徴】

- (1) 5月の東京地区は、売上高80.6%増(9か月連続)、入店客数76.3%増(8か月連続)と、前年実績を大きく上回った。前年、緊急事態宣言下において生活必需品以外の売場が休業したことの反動に加え、行動制限のないGWの人出増加や高額品需要の強さが寄与した。コロナ前の2019年比では、入店客数は25.4%減だが、売上高は8.8%減と前月よりマイナス幅を縮めた他、免税売上を除く国内市場は0.9%減にまで回復した。
- (2) 商品別では、主要5品目全てプラスとなり、特に衣料品、身のまわり品等のファッションアイテムは三桁増と高伸した。主力の衣料品(119.8%増/8か月連続)は、出勤の増加や行楽需要の高まりで、紳士服ではスーツやジャケット、スラックス、婦人服ではブラウスやスカート、ワンピースが好調だった他、子供服にも動きが見られた。
- (3) ラグジュアリーブランドや高額品の増勢を受け、身のまわり品(157.0%増/9か月連続)と併せ、雑貨(92.0%増/9か月連続)も大幅増となった。円安による輸入物価上昇や堅調なブランド品需要を背景に、時計や宝飾、金製品で価格改定による値上げ前の駆け込み需要が見られた他、家庭用品(43.0%増/2か月連続)でもインポート家具等に同様の傾向が見られた。
- (4) 食料品(28.8%増/9か月連続)は、帰省、手土産需要が客数増と相まって、和・洋菓子共に好調だった他、人が集まる機会が増えたことで、大人数向けのオードブルや寿司等、大容量惣菜が人気だった。昨年未実施の地方物産展や屋上BBQ等も活況で集客に寄与した。中元序盤戦は、コロナが落ち着いていることもあり、ギフトセンターでの受注が好調に推移している。
- (5) 6月中間段階の商況は24.7%増(6/16時点)と、5月に続き好調に推移している。2019年比では約7%減とコロナ前の水準に近づいてきている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 +0.5日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
①増加した：17店、②変化なし：0店、③減少した：0店
- (3) 5月歳時記(GW、母の日)の売上 (同上/有効回答数13店舗)
①増加した：4店、②変化なし：7店、③減少した：2店

東京地区百貨店 売上高速報 2022年5月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	111,658,373	100.0	80.6
紳士服・洋品	8,369,938	7.5	128.4
婦人服・洋品	16,969,352	15.2	132.8
子供服・洋品	2,015,135	1.8	48.0
その他衣料品	1,626,508	1.5	87.4
衣 料 品	28,980,933	26.0	119.8
身のまわり品	18,749,109	16.8	157.0
化粧品	8,840,412	7.9	39.3
美術・宝飾・貴金属	13,704,022	12.3	166.1
その他雑貨	3,742,646	3.4	70.2
雑 貨	26,287,080	23.5	92.0
家 具	1,239,108	1.1	56.5
家 電	1,046,876	0.9	12.4
その他家庭用品	2,909,000	2.6	52.4
家 庭 用 品	5,194,984	4.7	43.0
生 鮮 食 品	3,382,214	3.0	0.8
菓 子	7,387,435	6.6	52.4
惣 菜	6,324,799	5.7	28.7
その他食料品	9,020,321	8.1	26.0
食 料 品	26,114,769	23.4	28.8
食 堂 喫 茶	2,200,719	2.0	221.6
サ ー ビ ス	2,075,467	1.9	61.9
そ の 他	2,055,312	1.8	14.8

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,559,737 千円	39.8
従 業 員 数	15,015 人	-5.5
店 舗 面 積	796,488 m ²	-0.7

営 業 日 数	31.0 日	前年	30.5 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全ての品目がプラスとなり、衣料品、身のまわり品が三桁増となった。その他の品目も全ての品目がプラスとなり、生鮮食品が12か月ぶりにプラスとなったほか、紳士服・洋品、婦人服・洋品、美術・宝飾・貴金属が三桁増となった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	80.6	—	9か月連続プラス
紳士服・洋品	128.4	7.6	7か月連続プラス
婦人服・洋品	132.8	15.7	9か月連続プラス
子供服・洋品	48.0	1.1	2か月連続プラス
その他衣料品	87.4	1.2	3か月連続プラス
衣料品	119.8	25.5	8か月連続プラス
身のまわり品	157.0	18.5	9か月連続プラス
化粧品	39.3	4.0	9か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	166.1	13.8	16か月連続プラス*
その他雑貨	70.2	2.5	3か月連続プラス*
雑貨	92.0	20.4	9か月連続プラス
家具	56.5	0.7	6か月連続プラス
家電	12.4	0.2	4か月連続プラス
その他家庭用品	52.4	1.6	2か月連続プラス
家庭用品	43.0	2.5	2か月連続プラス
生鮮食品	0.8	0.0	12か月ぶりプラス*
菓子	52.4	4.1	15か月連続プラス*
惣菜	28.7	2.3	15か月連続プラス*
その他食料品	26.0	3.0	5か月連続プラス*
食料品	28.8	9.4	9か月連続プラス
食堂喫茶	221.6	2.5	3か月連続プラス
サービス	61.9	1.3	2か月連続プラス
その他	14.8	0.4	3か月連続プラス
商品券	39.8	0.7	2か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>